

## 16.5. SCHED\_RR

SCHED\_RR が指定されたプロセス/スレッドは、自分自身で待ち状態になるか、タイムスライスを使い果たすまで実行されます。

SCHED\_RR の特徴として、以下のものが挙げられます。

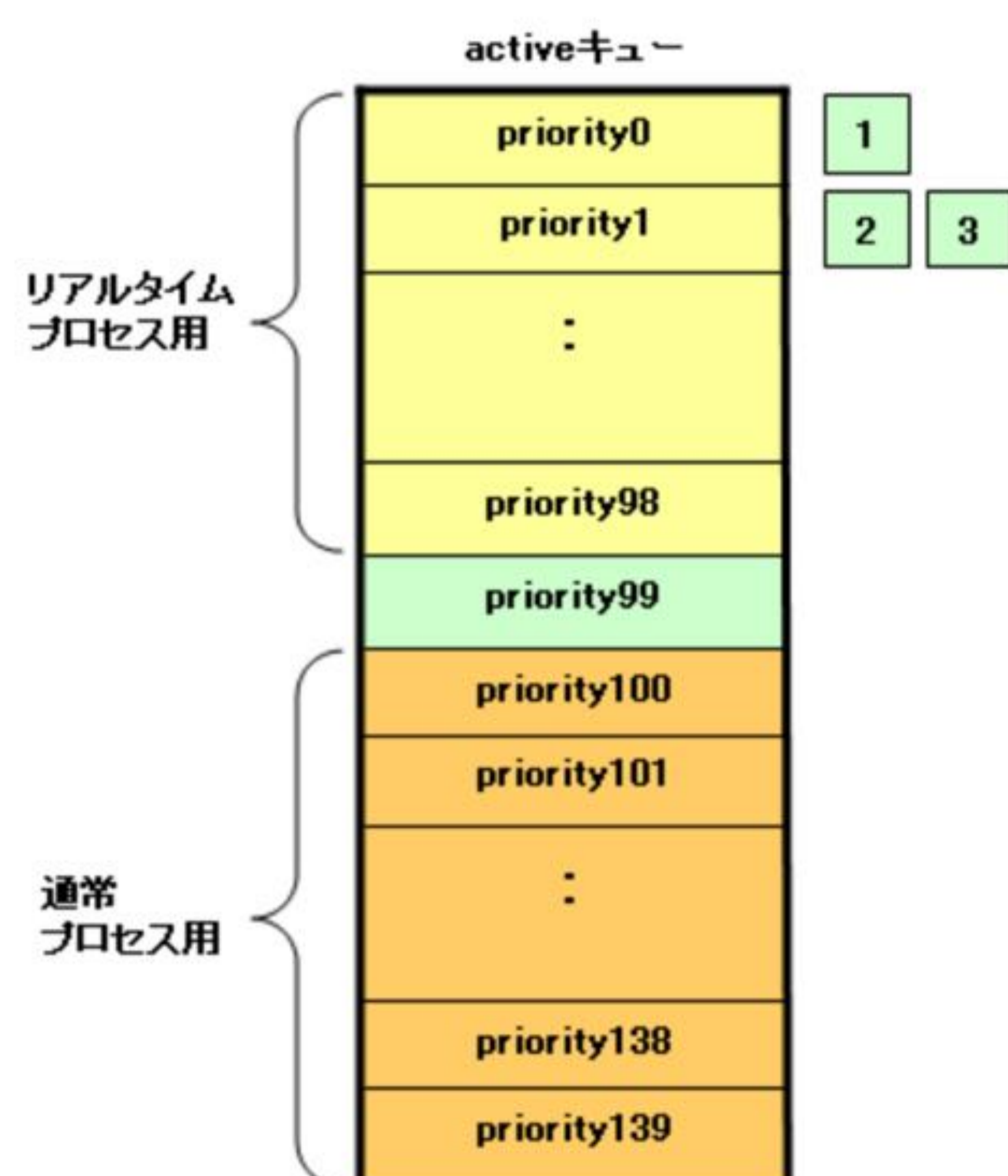
- Round Robin スケジューリング
- 使用するには root の権限が必要  
※ 最低優先度から RLIMIT\_RTPRIO にて設定した優先度までは root の権限がなくても設定可能
- 静的優先度を持つ  
静的優先度は 0 ~ 98 が割り当てられる
- 割り当てられた実行時間(タイムスライス)を使い果たしたプロセスは RUN キューの最後に置かれる

### RR リアルタイムプロセスの動作イメージ

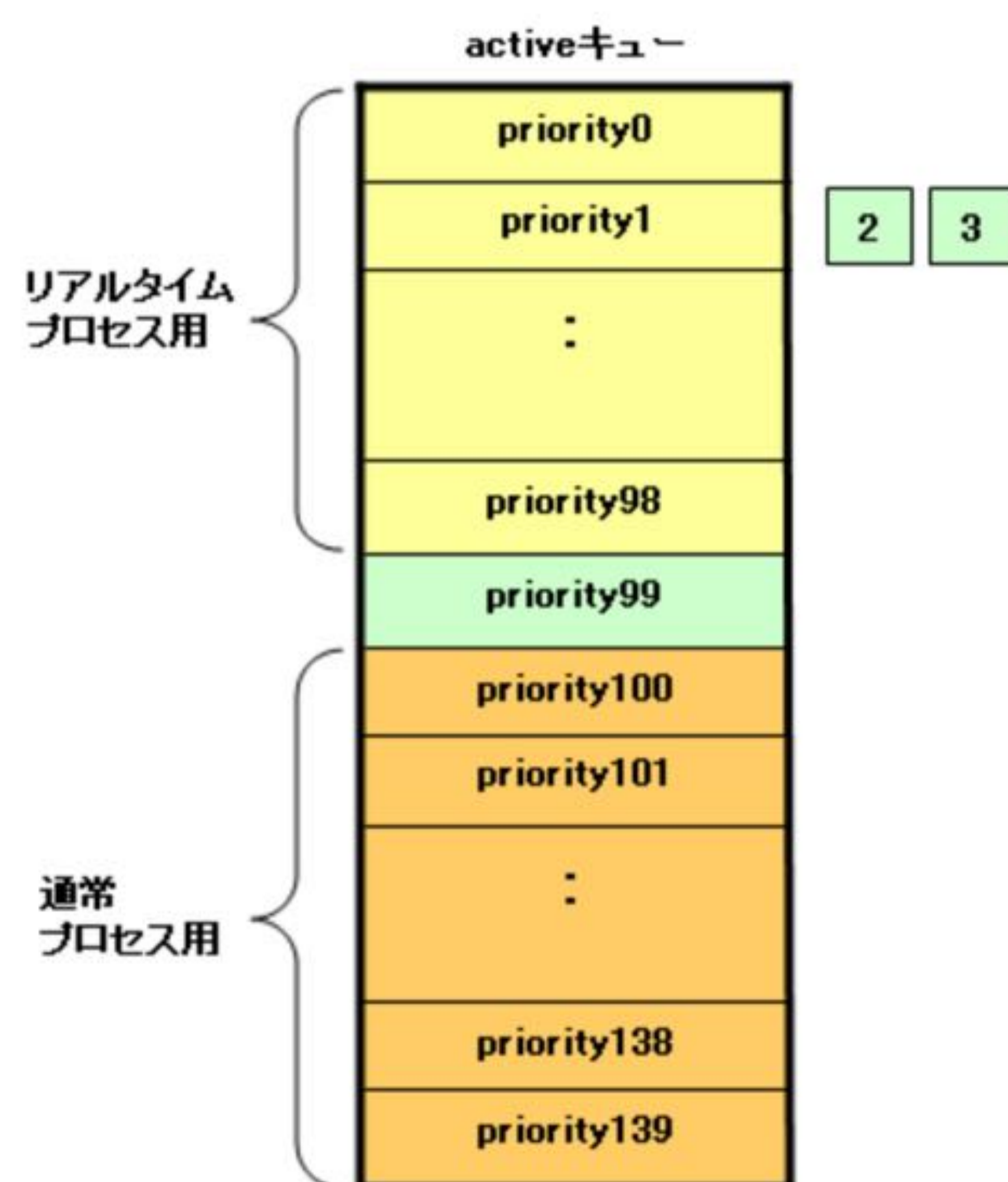
RR リアルタイムプロセスの動作イメージを示します。

#### 1. active キューに繋がっているプロセスを実行

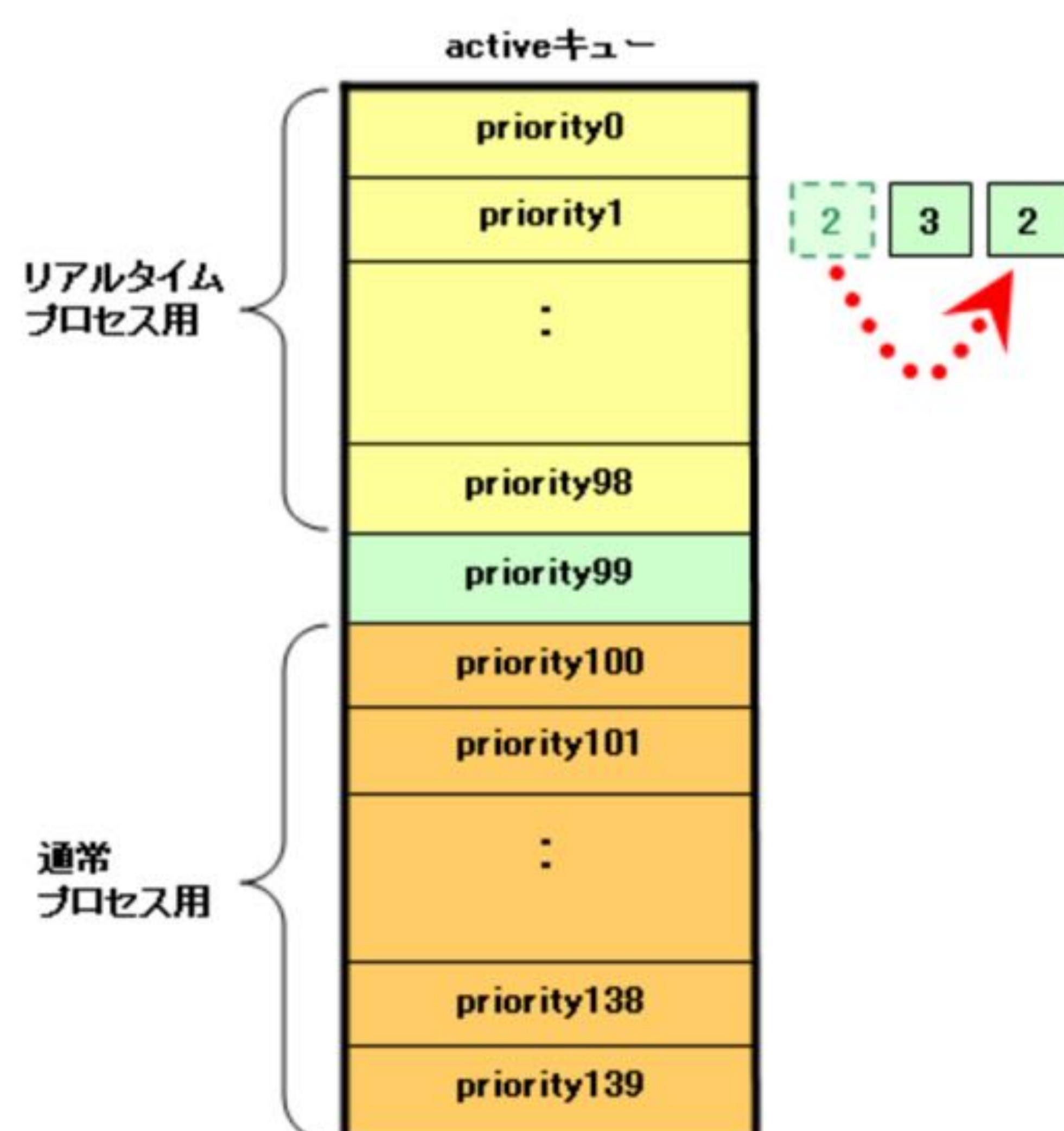
以下の図はプロセス1 ~ 3 が RUN キューに繋がっている様子です。(図中の 1 ~ 3 の RR リアルタイムプロセスのみが動作しているとします)



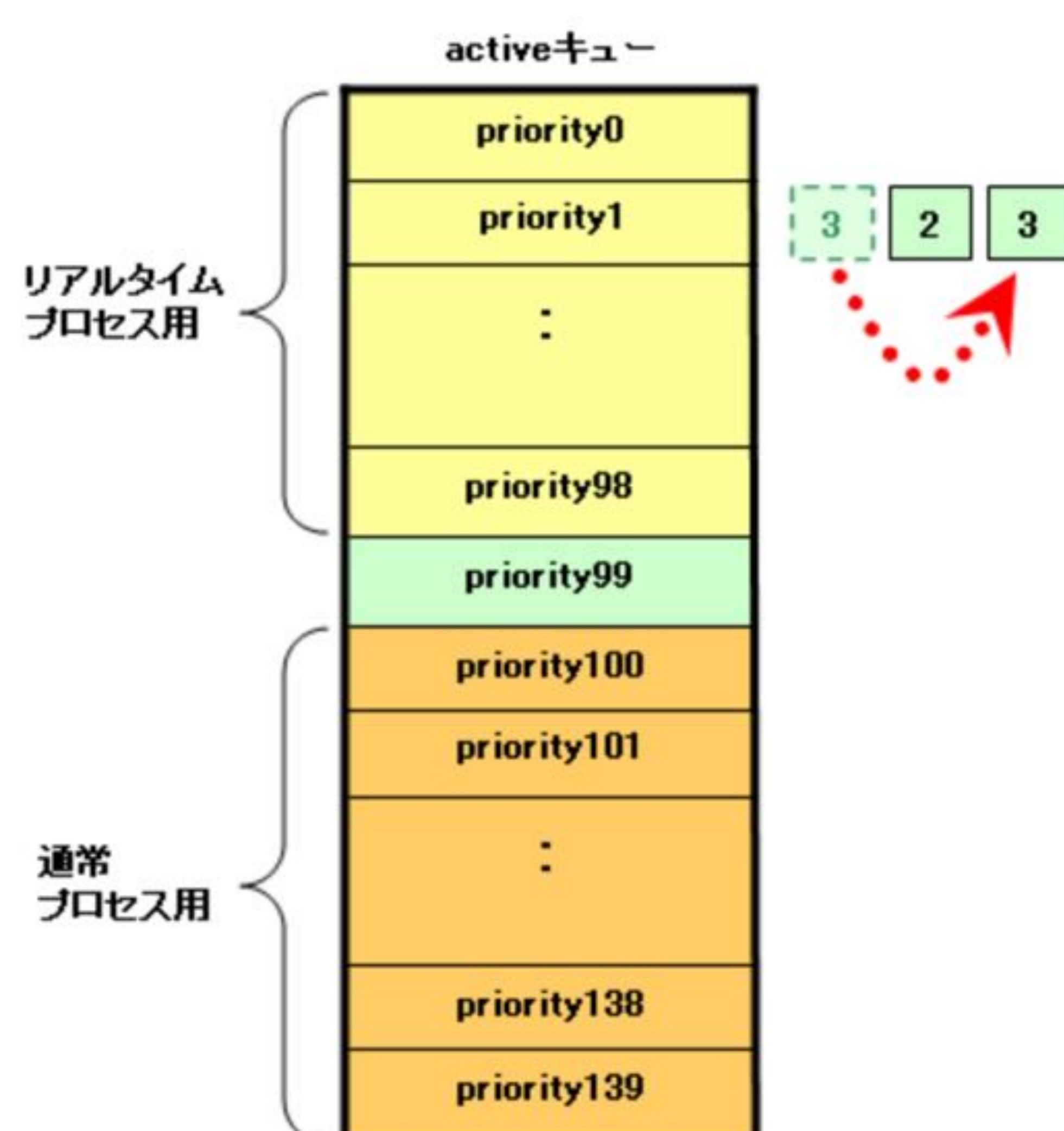
1. 静的優先度が最も高いプロセス1 が処理が完了するまで実行される



2. プロセス2 が実行される
3. プロセス2 がタイムスライスを使い果たし、RUN キューの最後に置かれる



4. プロセス3 が実行される
5. プロセス3 がタイムスライスを使い果たし、RUN キューの最後に置かれる



以下、プロセス2、プロセス3 が終了するまで繰り返す。